



私が子どもだった頃

廣瀬 隆夫

私は昭和30年(1955年)に大道で生まれ、侍従川の近くで育ちました。小さい頃は、パソコンもゲームもありませんでしたが、自然がたくさんあって山と川が遊び場でした。

祖父から聞いた話ですが、明治・大正時代の侍従川は、舟を浮かべて海から物を運べるくらい深かったそうです。関東大震災の時に三浦半島全体が隆起したために今の水量になったということです。

泥牛橋の近くに昔の川の石垣が見えていますが、昔は川幅が今よりずっと狭くて大雨が降ると氾濫することがありました。伊勢湾台風の時にも氾濫して、今は空き地になっていますが、そのころ建っていた県営住宅の床上まで水が来たことを覚えています。改修工事をして川幅を広げてからは氾濫することはなくなりました。

オオミドリシジミ (大緑小灰蝶)

学名 *Favonius orientalis*

ミドリシジミ族のことをギリシャ神話に登場する西風の精ゼピュロスにちなんで『ゼフィルス』と呼ぶ。ゼフィルスは日本に25種生息しているが、オオミドリシジミもその中の一種だ。侍従川流域では、数は少ないものの5月から6月頃にみられる。雄はメタリックグリーンの翅が大変美しい。地元には妖精の名を持つ蝶が棲んでいると思うと嬉しいものである。

解説：佐野



イラスト 山田(陽)

大雨が降った後は、上流から色々なものが流れて来ました。時には大池（ブックオフの奥にありました）から錦鯉が流れて来たりしました。当時は侍従川に鯉は棲んでいなかったのが珍しかったのです。ゴミが流されてきれいになった侍従川に入ってメダカやフナを獲るのも楽しみでした。

ちとせ園の横に下水用の土管が埋まっていますが、その工事現場で友だちと大きなウナギを捕まえたことがあります。1週間くらい池に放して泥をはかせた後に、父にさばいてもらって蒲焼きを作ってもらって食べました。蒸さずに焼いたので堅かったのですが、始めて食べた蒲焼きの味は今でも忘れられません。



大道中学の裏山は、道が鎌倉の天園まで続いていて山菜の宝庫でした。春になるとウドやワラビ、ゼンマイ、タラの芽、野生のシイタケなどが採れました。採った山菜は、祖母に料理してもらってワラビ飯などにして食べました。大道中学の奥は深い谷になっていて茅やすすきが一面に生い茂った場所がありました。マムシがたくさんいたのでマムシ谷とも呼ばれていて、子どもが噛まれることもありました。そこでカエルを捕まえて、西大道にあった防火用水でカエルの水泳大会をやって遊びました。

大道中学の横の川は、今では蛍がたくさん棲んでいます。その頃は蛍はいませんでした。私が大道中学に通っていたときに、生物部が南川の田んぼから蛍の幼虫やカワニナをとって来て放しました。今の蛍は、その子孫かもしれません。上流の水源の近くの川底からは清水が湧き出していました。そこには透明な水生エビやゲンゴロウ、ハヤなどがいました。



昔の侍従川（諏訪乃橋）



今の侍従川

秋になると山から竹を切って、釣り竿にして関東学院の前あたりで、ハゼ釣りをやりました。餌は近くの土をほじくり返して捕まえたミミズです。釣ってきたハゼは昆布巻を作ってもらって食べました。竹といえば、八つ手の実を玉にした竹の鉄砲もよく作りました。上手にできた竹鉄砲を打つとパンと驚くほど大きな音がしました。



東京オリンピックが終わって日本経済の高度成長が始まったころから、山や谷が崩されて大道の地形が大きく変わって行きました。大道中学の谷戸も埋め立てられました。侍従川の改修工事も行われましたが、その頃から川が汚れてきました。最初に川の底が、気持ちの悪い昆布のような藻に覆われました。次にイトミミズやアカムシ（ユスリ蚊の幼虫）が増えました。川全体が悪臭を放って、生き物の姿が全く見えなくなった時期もありました。

そんな侍従川が本当にきれいになりました。下水道を整備したり、侍従会のメンバーや近隣の小学生による葦の植栽や清掃活動の効果がでてきたのだと思います。今では侍従川は緑に覆われ、ゲンジボタル、ハグロトンボ、クロメダカ、カルガモなどのたくさんの生き物が棲むようになりました。

侍従川は照手姫伝説の時代から何百年も流れ続けています。これからもずっと潤れることはないでしょう。子どもたちが大人になった時に、侍従川で、こんな魚を捕ったとか、友だちとこんなことをして遊んだ、などの楽しい思い出を次の世代の子どもたちに語り継いでもらえたら良いなあ、と思っています。

侍従会ギャラリー



イラスト 郁絵



イラスト 有加里

3月29日(土) 於：舞岡中学校

記) 島村

3月29日に「第24回よこはまの水辺と緑を考える子ども会議」が舞岡中学校で行われました。

今回の子ども会議の実行委員長は私、島村真依で副実行委員長は、駒岡グループの下平晴樹君と新羽中学校の三上一美さんでした。

テーマは『みんなでふれ合おう～私達の生活にかかせない大切な自然～』で、駒岡グループ・新羽中学校自然科学部・二つ池プロジェクト・S.S.C.・横浜にとんぼを育てる会・トンボはどこまで飛ぶかフォーラム・横浜・川崎サケっ子の会・ふるさと侍従川に親しむ会の8つの団体が参加しました。

内容は、午前中にワークショップをやり、午後は横浜開港150周年企画として、現在の自分たちの活動について発表し、そのあとに未来の横浜について話し合いをしました。ワークショップでは実行委員会でも「生き物投票」という形でブースを出しました。午後の話し合いでは、「残したい生き物グループ」と「残したい場所グループ」に分かれて話し合いました。また、最後にそれぞれのグループで話し合った内容を提言としてまとめました。決まった提言は、

カワセミのように子どもたちから感動を与えてくれた生き物や、ヨコハマナガゴミシ等横浜でも貴重になってしまった生き物だけでなく、今見られている生き物を未来に残していきたい。そして、それら生き物のフィールドとして、植物があり生き物が生息し、水辺もあって眺めもよい、人と自然がふれあえる場所を大切にしていこう。

そのためにどうしたらよいか、これから次の子ども会議までみんなで勉強していきましょう。みんなで残したいフィールド・生き物をこれから見ていきたいと思います。

第24回横浜の水辺と緑を考える子ども会議 参加者一同



です。この提言は、これからも大切にできればいいと思います。

今回の子ども会議では、とても充実した時間を過ごせたので良かったです。今後も、他のグループとたくさん交流出来たらいいと思います。



学生部新入生歓迎遠足

4月4日(土)

於：森戸川源流

【活動報告その2】

記)成島

参加者23名(高校生以下16名、大学生7名)

葉山町にある二子山の森戸川源流を歩いてきました。今回は学生部の新入生歓迎遠足ということでしたが、初参加する小学生や大人の方もいました。

二子山はバードウォッチングに訪れる人が多いようで、川の横の道で双眼鏡をのぞいている人たちがたくさんいました。そんな中、私たちは川においてガサガサや魚釣りをしました。良いポイントを探して生き物を探りつつ、どんどん上流へと向かっていきました。水の冷たさにも負けず、みんな元気にガサガサや魚釣りを楽しんでいました。

砂防ダムまでたどり着き、そこで仲良くお昼ごはん。みんなだいぶ打ち解けてきたようでした。昼食後は捕れた生き物を、リーダーの佐野君が解説してくれました。今回捕れたのは、魚4種、エビ3種、ヤゴ8種、川虫類など...なかなか大漁でした！今回の主役であった新中学生たちや初参加のみなさんも、成果をあげられたようで良かったです。これからもみんな楽しく活動していきましょう。



ベイサイドアースデイ “ つながりの章 ”

【活動報告その3】

～Vol. 2 きれいな川ってどんな川？アシ植え大作戦！～

主催 パタゴニア ベイサイド・アウトレット

4月12日(日) 9:30～12:30

記) 山田(陽)

4 / 12 (日) にパタゴニア・ベイサイド・アウトレット主催(ふるさと侍従川に親しむ会 協力)のアースデイイベント ～つながりの章～「きれいな川ってどんな川？アシ植え大作戦」が行われました。



お客さんは30人ぐらいで、侍従川の森～海までの話をスライドショーで解説した後に侍従川中流へ。水は冷たかったのですが、キレイな水に入って子どもたちは喜んでいました。

スタッフに魚捕りを指導してもらい、自分で魚が捕れた時は嬉しそうでした。



魚捕りを終えた後は、みんなでアシの植栽。一本のアシが2トンの水を浄化する...そんな話を聞いた後なので、参加者は一所懸命植えてくれました。無事育ち侍従川をキレイにしてくれたらいいですね。

その後、今日の成果...捕れた魚のレクチャーは山田が、水棲昆虫のレクチャーは佐野がしました。

お客さんに、本当に「キレイな川」ってどんな川なのか？考える一日であれば幸いです。

廣瀬さん、関晴子さん、竹内さん、佐野さん、成島さん、関博之さん、島村さん、金子さん、パタゴニアのスタッフの皆さん、お疲れ様でした。



この会報は、会のホームページ(http://www.sora-iro.net/hirose/furusato_jijyu/)から見るすることができます。

春を味わおう！

【活動報告その4】

～春の草摘みと野草料理パーティー～

4月18日(土) 9:00～15:00

記) 寺尾

『春を味わおう！』と題して4月18日(土)に「～春の草摘みと野草料理パーティー～」をしました。参加者は50人弱で春の陽光の中散策をしながら、食べられる野草や気をつけなければならぬ毒草について知る機会となりました。



シロツメクサ



タンポポ



ドクダミの葉



ユキノシタ



クレソン



ヤブミョウガ



三葉



ムラサキケマン (アカツメクサ)



スイバ



カバノ若芽



サンショノ葉



フキ



クレソン



イタドリ

朝比奈の金井さんの敷地へおじゃましました。そこでは、トトキとも呼ばれるツリガネニンジン、タンポポ(花&葉っぱ)、赤つめ草、ノビル、ヨモギ、スイバ、ノゲシ、カラスノエンドウを採取。横には大きく育った竹の子が・・・さすがに採取はしていません。ノゲシ・スイバ・カタバミはその場で味見、「スッパ!!」。常林寺裏谷戸に向かう途中でイタドリを食んだ数人は「スッパ!!」といいながら、のどの湯きを癒し、目的地ではセリ、ユキノシタ、ヤブミョウガを採取。昨年大漁だったノビルは残念ながらほんの少ししかなく、昨年取りすぎたのかも・・・とちょっと心配してしまいました。野草は根こそぎ採取せず、株をのこして採取しましょうね。次代の楽しみのために。その後、大道中学校ではタラノメ、クレソン(オランダガラシ)をゲット。

意気揚々とちとせ園に向かいました。おっと、今回山田(陽)さんに教えてもらったのは食べられる野草ではなく、食べてはいけない毒草を教えてもらいましたね。覚えていますか? カラマツソウ、センニンソウ、ムラサキケマン、スイセン、図鑑を持っている人はぜひもう一度葉っぱと花を見て思い出してね。こちらの方もすご～い重要ですからね!

一方、ちとせ園ではお母さん方が準備を整え材料の到着を待っていてくれました。ありがとう。その後は調理、野草洗いと毒草の取り除き作業。これは言いすぎでしたね。皆、山田(陽)さんの話を良く聞いて明確

葦船乗船会 ～侍従川 川びらき～

【活動報告その5】

4月19日(日) 9:00～15:00

於：諏訪乃橋～関東学院大学漕艇場

記)押田

毎年恒例となった葦船乗船会が、総勢150名もの参加者を集めて、にぎやかに行われました。今年は天候にも恵まれ、春の風を感じながら気持ちよく巡航できました。



(漕艇場までは向かい風が強く、寺尾さんファミリーはかなり大変だったそうです)

今年2月に作った「照手姫」と少しスリムになった「小栗判官」の2艇に加え、和船の会からも船が登場！大人も子どもたちも、嬉しそうに何度も船に乗り込んでいました。大人も童心にかえて笑いあえるイベントはやっぱり最高ですね。関係者のみなさん、お疲れ様でした～。来年も楽しみましょう！



イラスト 長崎光則&洋子

4月クリーンアップ

【活動報告その6】

4月26日(日) 9:00～11:50

於：加倉橋～ブックオフの上流

記)細川

参加者：相川、中山、西澤、角田、八木場、村田、戸川、岡、廣瀬、山田(陽)、樋口、濱田、米塚、細川(計14名)

前日来の雨が止み晴天となりましたが、台風のような強風の中作業開始。前月の状況が嘘のように草が生え茂っていました。加倉橋から上流に向かってゴミ拾いと草刈りを開始。草刈り機も久しぶりの登場です。西澤名人が横浜屋の駐車場横の広い場所を、草刈り機を使って草を刈っている間に、他のメンバーは里の橋～地藏橋～ブックオフにそれぞれ散らばりゴミ拾いと草刈りを行いました。作業区間が長かったため、作業終了時間は12時近くになってしまいました。また、草刈り機も作業終了直前に調子が悪くなってしまいました。



第4回 よこはま水と緑の日

【活動報告その7】

4月29日(祝) 於：神奈川水再生センター

記) 竹内

4月29日神奈川区にある神奈川水再生センターに於いて、第2回かながわ湊フェスタ、第4回よこはま水と緑の日、第6回かながわく国際交流祭りというコラボイベントに参加しました。参加者は3000人と、大きなイベントです。

生き物展示は、侍従会と海を考える会、他には飲食、フリマ、工作など、いろんな団体が参加してました。

今回の侍従川展示は蛇、亀、葦船です。ちょっと寂しい。そんな中やはりタッチスネーク好評でした。当初私だけの参加でしたが、山田くんや学生部が参加、より楽しくイベントが出来ました。

ありがとう学生部。



トピックス

4 / 8 (水) 侍従川流域でシオヤトンボ数十年ぶりに発見!

4 / 27 (月) 侍従川中流域でアユの遡上を確認 (芦澤淳氏より)

5 / 24 (日)に実施予定だった「侍従川拡大クリーンアップ」は雨天のため中止になりました。(翌週に通常のクリーンアップを実施)

午後に予定されていた学生部 侍従川定例調査も中止になりました。

5 / 27 (水)に大道小「侍従川クリーン大作戦!」が行われました。

当初は5 / 25開催予定でしたが、雨天順延のため5 / 27になりました。この川掃除に、おはスタ(東京テレビ系)が取材にきました(放映日は未定)。

5 / 30 (土)に実施予定だった「春の森の宝ものを探そう～源流の森たんけん&自然観察会」は雨天のため中止になりました。



撮影：佐野

トントン拍子に出たものの山田氏はお腹を空かせているのだろうか？氏が挙げた「マ」の付く海の幸に成島・佐野は感嘆の声をあげた。その後さらに生き物の名前が挙げられ、以下のとおりになった。

《ナミ》：ナミゲンゴロウ（昆虫/非標準和名）・ナミアゲハ（昆虫/非標準和名）・ナミヒカゲ（昆虫/非標準和名）・ナミテントウ（昆虫/非標準和名）



ナミアゲハ

《マ》：マイワシ（海水魚/標準和名）・マサバ（海水魚/標準和名）・マハゼ（海水魚/標準和名）・マダイ（海水魚/標準和名）・マタナゴ（淡水魚/非標準和名）・マドジョウ（淡水魚/非標準和名）・マゴイ（淡水魚/非標準和名）・マブナ（淡水魚/非標準和名）・マダコ（軟体動物/標準和名）・マガモ（鳥類/標準和名）・マイルカ（哺乳類/標準和名）



マタナゴ

《ホン》：ホンサナエ（昆虫/標準和名）・ホンモロコ（淡水魚/標準和名）・ホンヤドカリ（甲殻類/標準和名）・ホンビノスガイ（貝類/標準和名）・ホンシメジ（菌類/標準和名）



成島：『ホン』が付く生き物はみんな標準和名なんだね！！ ホンサナエの羽化

佐野：逆に『ナミ』は非標準和名だ。『マ』の淡水魚は非標準和名だけどその他は標準だね！こうして思わぬ発見があり面白い座談会になったのだが…。山田氏は途中で飽きてしまったようで…

山田：虫で一番強いのは何だと思う？

次の座談会はヴィジュアル系ナンバーワンもいいな！！

俺はハンミョウかサソリモドキかシマゲンゴロウが上位だな！！

読者のみなさんには次回の座談会も楽しみにしてもらいたい…。

アサヒナカワトンボ調査報告 2009

侍従川流域におけるカワトンボの生息状況を把握することを目的とします。今回は7ヶ所の支流と本流の源流部を調査しました。

調査地	調査日	結果
六浦南	5 / 9	3 確認, うち1 橙色翅型
朝比奈町蛭谷戸	5 / 9	9 3 確認, は橙色翅型個体が目立った。
	5 / 27	6 2 確認, は橙色翅型個体が目立った。
朝比奈小学校	5 / 9	未確認
	5 / 27	未確認
朝比奈町切通し入口	4 / 22	4 1 確認, うち1 は橙色翅型,
	5 / 9	8 1 確認, は橙色翅型と透明翅型は半々くらいであった。
朝比奈町源流(本流)	5 / 9	2 確認, 透明翅型のみ
朝比奈町常林寺裏	5 / 9	1 確認, 透明翅型のみ
朝比奈町大滝の沢	5 / 9	2 確認, 透明翅型のみ
大道中学校	4 / 25	3頭確認, 幼虫のみ



5 / 9 蛭谷戸 橙色翅型



5 / 9 大滝の沢 透明翅型

かつては生息していた朝比奈小学校で発見できなかったのは残念でした。他に侍従川の支流は3ヶ所あるのですが、うち2ヶ所は立ち入り禁止のため調査できていません。今後も継続して調査を続けていきたいと思っています。

佐野

侍従川生き物図鑑 No. 6



ヤマアカガエル

撮影：熊井 健

(アカガエル科)

- ・体長：35～78ミリ（メスのほうが大きい）
- ・分布：侍従川中流から源流域

流域で一番多く見られるアカガエルの仲間で、2月のなかば頃、山から下りてきて学校のトンボ池や川の淀みなどに産卵へやって来るのを観察することができます。オタマジャクシがカエルになるまでは4～5ヶ月かかり、それまでに最大で6センチくらいにまで成長します。産卵を終えたカエル達は再び山へと戻って行き、初夏まで眠ります。



水たまりに産みつけられた卵 2月



オタマジャクシ 4月

監修) 熊井

佐野真吾が語る侍従会の思い出 ~ 森戸川遠足 ~

2000年5月のとある夜。学生部隊長の山田さんから電話がかかってきました。「5月26日、今週の土曜日森戸川源流に行くよ。」いつものごとく詳しい説明もないまま参加が決定しました。しかし森戸川は私もよく知っている場所でした。私が生まれる前日、母が私をお腹に抱えたまま家族で遊びにきたそうです。その話を意識してか私も子どもの頃から森戸川が好きでよく遊びに行っていたのです。「だから森戸川は不思議と馴染み深い特別な感じがするんだよなあ~」当日、行きの電車の中でタクマ(同級生の仲間)にその話をすると、「さっ佐野くん!それは霊が関係してるよ!」「なんでだよ!アホか!おまえオバケ怖いクセに好きだなそういう話...」と、まあくだらない話をしながら新逗子の駅に着き、歩いて現地に向かいました。

現地に着くと本拠を置いてあとは自由行動です。私は山田さんや2つ上のジョウジくん、ロッペイクン、ナカダくん、そして同級生のタクマと川の中をザブザブ歩きながら上流へ向かうことにしました。川の中を歩くと無数のカワトンボが舞い、ハンミョウが『道教え』の名の通り先を飛びました。森の隙間から日が射しカワトンボとハンミョウが舞う美しい光景は今でも忘れられません。また、この頃はミズスマシやヘビの姿も多く見られました。自称『スネイクハンター』を名乗るジョウジくん、ロッペイクンコンビが2メートルはあるアオダイショウを捕まえていたのを今でも記憶しています。中学1年生だった私にとって2人は憧れのカッコイイ先輩でした。当時は他にもタカチホヘビやジムグリ、ヒバカリといった今では少なくなったヘビも多く見られました。特にヒバカリの数は非常に多く、皆捕まえて遊んでいました。

始まって1時間ほどたって、早くも皆バラバラになりました(侍従会学生部は山田さんを中心にこの頃特に自由奔放者が集まっていた)私とタクマも山田さんや先輩たちとは別行動(実際にははぐれた)となっていました。

私が水生昆虫採集に夢中になっていると、タクマは「そろそろみんなに追い付こうぜえ。」と言ってきました。彼も私と行動を共にしていたものの、知らない森の中で皆に置いていかれ相方は虫ばかりに夢中で退屈と不安になったのでしょうか。

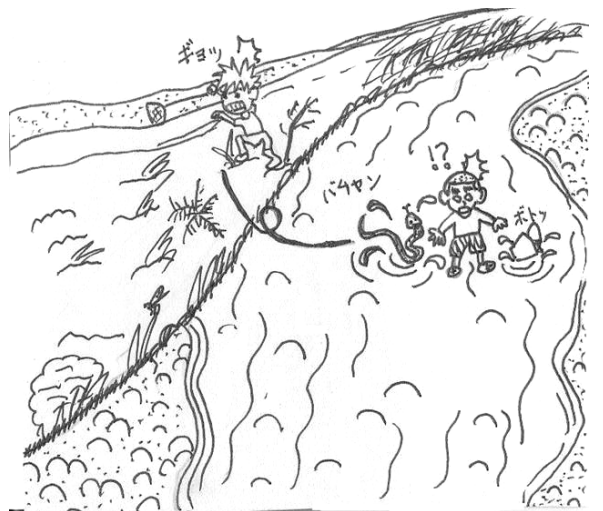


イラスト 佐野

「しょうがない陸路から皆に追い付くか。」と私なりにタクマに気を使い、上の林道によじ登ろうとすると、「ポチャン！」と何かが転がるように落ちてきました。すると突然タクマが絶叫しました。「大蛇!! 毒蛇!! ヤマカガシ!!」土手の茂みから2メートル近いヤマカガシが転がり落ちてきたのです。私はあわてて上の林道に這い上がりました。上から見下ろすと本当に大きなヤマカガシが川を渡り向こう岸まで泳いで行く姿が見えました。そして下では気が動転したタクマが土手をよじ登れず必至にもがいている様子が伺えました。「おいっ。もうヘビ行ったよ!」

こうして今回もまた小さなハプニングに襲われた遠足が終わったのでした。今ならヤマカガシくらいで何驚いているんだという感じですが、当時はヘビのこともあまり知りませんでしたし、慣れていませんでした。しかし、それはこれからの侍従会の体験が経験となって皆慣れていくのです。侍従会のイベントは一つ一つが思い出であり、良い経験なのだと今痛感しています。



『佐野真吾が語る侍従会の思い出』 つづく イラスト 有加里

ナチュラルリスト山田陽治のトピックス

こども天然生活 vol.5 (5/28 発売) 地球丸発行 1260 円 (税込) に、山田が川遊びの指導で載っています。購入問い合わせ先：地球丸 営業部 tel.03-3432-7901

直接ご連絡いただくと、定価の80%にてご購入いただけます。

(別途送料がかかりますが、10冊以上ご注文いただくと送料無料になります。)

～こども天然生活は、「遊びを通じた親子のコミュニケーション」をテーマにした、3～9歳のお子さんを持つお母さん向けの不定期発行ムックです。今回の特集は「外遊び」。海・山・川への日帰りお出かけや、親子の公園遊び、ピクニック、日帰りファッションなどを紹介しています。これを読んで、子育てがもっと楽しくなってくればうれしいです。～ ぜひ、ご購入を!

4 / 8 (水) ~ 4 / 11 (土) に野島海岸で「モリゾー・キッコロ森へいこうよ!」(NHK 教育)の撮影が行われました。潮干狩りとアマモ場がテーマです。5 / 10 と 5 / 17 に放映されました。

「モリゾー・キッコロ森へいこうよ!」(NHK 教育 日曜17:35~17:50 再放送 土曜11:00~11:15)の、山田出演日は7 / 5 (7 / 11) と 7 / 12 (7 / 18) です。

ぜひご覧ください。



それゆけ

激突！山田くん

完全復活！？

～対 動物編～



「ニホンマムシ」の巻（続き）

病院に行くと皮膚科に通され、医者に診てもらった...開口一番「珍しいねえ。今時マムシに咬まれるなんて」と言った。そして、奥に消えて行ったかと思ったら、一眼レフカメラにマクロレンズにマクロリングストロボを持って戻って来た。これは恰好の臨床例だからしっかり写真に撮っちゃおう！と言わんばかりに、ご自慢のカメラでバシャバシャボクの手を撮っていた。ふと顔をあげると、若い医者が10人ぐらい、ボクの手を観察していた。きっと「おい！あの患者、珍しい臨床例だからよくみとけよ」などと言われたのだろう...ボクも、もう好きなだけ見て見てといった気持ちでいた。

お医者さんが「入院だな」とポツリと言った。「エッ!？」と反射的に応えると「これは入院ですね」ととどめをさすようにお医者さんは再度言った。「え～っ!!明日は授業で教えなくちゃならないからムリ!」と言ったが聞き入れてくれなかった。「入院はイヤだ!」と拒んでも、お医者さんの不動の精神は揺らぐことなく入院の手続きをしていくのであった。「せ、せめて給食を食べにいったん戻っていいですか?」と聞いたのだがそれも却下された(>_<)

四日後は宿泊体験学習の仕事がある...何とか間に合うかなあ...と、いつ釈放...いや退院となるかもメドも知らされずに病室に向かうことにした。

ナースステーションの前を通ると、看護師たちがひそひそとボクを見て話しているような気がした...「もしかして病院内にヘビに咬まれて入院した人として知られているんじゃない...恥ずかしいなあ」と思いながら病室に逃げるようにして入った。

そして最初にやらなきゃならない採尿のためにトイレに行った。ボクは給食が食べられなくて悔しい思いをしながら、うなだれたままおしっこをするのであった...

(つづく)

《会員の皆さんへのお願い》

行事詳細や中止のお知らせなどのスムーズな伝達のために、メーリングリストに登録してください。登録については山田(陽)まで yohji-y@ezweb.ne.jp

侍従川定例調査報告 学生部

4月26日(日) 晴れ

大潮 満潮04:51(177cm)18:18(181cm) 干潮11:37(-7cm)23:55(85cm)

参加者：梅田、佐野、成島、島村まい、金子、米塚、濱田、樋口、島村たくや、山田(陽)
(計10名)

【長島橋】(中流域)13:55

気温：21 水温：19 pH：8.0

塩分濃度：0パーミル(1000分の1を1とする単位)

生き物：アメンボ(4)、ハグロトンボ幼虫(32)、
シオカラトンボ幼虫(3)、ベンケイガニsp(1)、
クロベンケイガニ(1)、ミゾレヌマエビ(3)、
テナガエビ(1)、チチブ(8)、ヒバカリ(1)、
アオダイショウ(1)

ゴミ：紙バック

備考：左岸が少しずつ流れで浸食。一部マコモの地下
茎が流されそう。

【朝比奈町 朝夷奈切り通し入り口】(源流域)

気温：17 水温：21 塩分濃度：0パーミル

生物：ジャコウアゲハ(5)...捕獲2目撃3、トビケラsp、
オオシオカラトンボ幼虫(52)、カワゲラsp、
カゲロウsp

ゴミ：いろいろ

備考：流れの奥は、生物が見あらず。水量が少ない
すぐに効果はあらわれないが、
森の手入れを進め森の保水力を高めていく必要
があるかと思われる。



トンボ博士梅田さんによる
ヤゴの見分け方



長島橋付近



調査後の標本づくり

注) spとは脱殻のこと

【朝比奈町 侍従川本流及び左支流】(源流域)

気温：17 水温：13 pH：9 塩分濃度：0パーミル

生物：カワゲラsp、コオニヤンマ幼虫(1)、コシボソヤンマ幼虫(1)、ヌマエビ(1)

ゴミ：ビン、ビニール他

備考：アメニティの再整備が少し進んでいた。本流には生き物が見あたらなかった。

~ 大道溪谷ホトケドジョウ調査 ~

源流域に生息するホトケドジョウの生息数と生息密度、遺伝子の多様性を日本大学の学生さんが調査しました。

調査場所「大道中学校 大道溪谷」

2009年4月24日(金) 13:30~17:30 くもり

ホトケドジョウ130

ホトケドジョウ以外の生き物

キベリヒラタガムシ、アメンボ、ヒメアメンボ、

コセアカアメンボ、カワトンボ(3)、

ヤマサナエ(6)、オニヤンマ(6)、オオシオカラトンボ(4)、ヤマトクロスジヘビト

ン

ボ(2)、カワゲラsp(4)、サワガニ、カワニナ(多数)、メダカ(9)、

参加者：日大の相木さん他学生3人、佐野、山田(陽)

2009年4月27日(月) 13:30~16:30 くもり

ホトケドジョウ120

参加者：相木さん他学生2人、海洋大の芦澤さん、山田(陽)

備考：いつも調査している最上部のU字溝は、生息密度は高いものの小型であり、下流部は流されたものが育ったと思われ、少し大型だった(60mm前後)。

この流れでホトケドジョウは500匹ちょっといると考えられる。狭い生息地の割に生息数は多い。遺伝子の多様性については検査結果を待ちたい。ここの場所は早くから侍従川の中でも孤立したと思われるので、遺伝子の多様性は望めないかもしれない…。生息環境の悪化や病気感染による絶滅のおそれを解消するために、他にも生息地を整備し分散した方がよいと思われる。



事務局だより

事務局運営委員 長橋

6月、7月の活動予定

6/13(土) 会員の集い 17:00~18:30 大道コミュニティハウス2F多目的室

6/13(土)、14(日) ホタル観察会 19:00~20:30 大道中学校 雨天中止

未成年者は保護者の承諾を得て参加してください、小学生以下は保護者同伴でお願いします。

6/28(日) 定例クリーンアップ 9:00~12:00頃 ちとせ園集合

7/11(土) 侍従川大調査会&ハグロトンボ調査 9:00~15:00頃(午前のみの参加可) 大道小学校集合 雨天中止

7/26(日) 定例クリーンアップ 9:00~12:00頃 ちとせ園集合

定例クリーンアップは、雨天の場合、翌週日曜日に行います。

学生部の活動

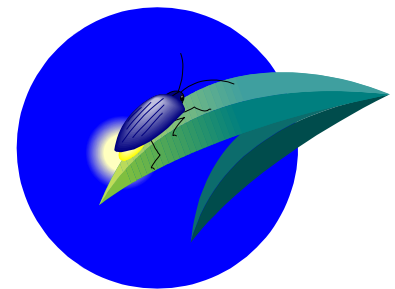
6/13(土) 定例調査 9:00~15:00頃 大道小学校集合

ホタル調査 5/27~7/4の水曜日、土曜日

19:00~20:30 大道中学校

必ず保護者の了解を得てから参加してください。

終了後は速やかに帰宅すること。



他団体との共催

7/25(土)、26(日) 全国トンボ市民サミット 横浜大会

7/25(土)、26(日) 生き物体験博物館 10:30~17:00

東京ガス環境エネルギー館ワンダーシップ(最終入館時刻16:30)

編集後記

今回は少し多めに写真やイラストを使ってみました。いかがだったでしょうか？

「会員の集い」に間に合うかどうか心配でしたが、なんとか間に合いました(汗)ご協力いただいた皆さんありがとうございました(MK)

ふるさと侍従川に親しむ会 事務局

金沢区六浦5-23-26

長橋 輝明

TEL&FAX: 781-4042

e-mail: jr-nagahashi@seaple.icc.ne.jp